

「雪化粧の大山」横山 尚登さん
 (福庭：令和2年鳥取県美術展「洋画部門」入選)
 「9月の県展を目指して静物画を描いていましたが、10月からは、大山ばかり描いています。この絵は旧江尾小学校分校付近で描きました」(横山)

願いは、**コ** **ロ** **ナ** **終** **息**

今年は、「東京五輪」の年!

何気なく過ごす、ごく当たり前の「日常生活」は本当にありがたいことだということを痛感する日々が続いています。今年が本当に良い年でありますよう!そんな願いを込めて、上井在住の方の作品と、「板画で年賀状を作ろう!教室」でがんばった子供たちの年賀状を紙面でお届けします。
 (「だより」編集委員会)

新年を迎えて!!
 上井地区住民の皆様、
 明けましておめでとうございます。

ご承知の通り、昨年はコロナに始まりコロナで終わってしまいました。予定していた行事等も中止や縮小を余儀なくされましたが、皆様の暖かい応援により何とか乗り越えることができました。とりわけ、コロナ禍にも挫けず「ふれあい給食サービス」に奮闘された給食ボランティアの皆様には厚くお礼申し上げます。

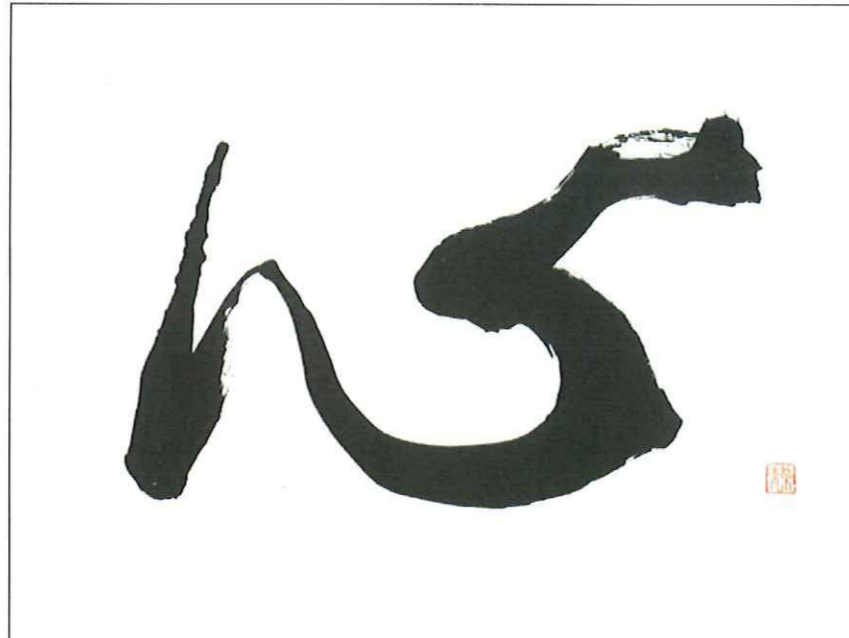
さて、本館は4月より「上井コミュニティセンター」に名称変更されます。従来の公民館活動とさほど変わる訳ではありませんが、自治公民館長様を始め関係各位と検討の上、現状の各行事の点検と改善を図りながらより多くの地域住民による参加型事業の企画と運営に取り組みたいと思いますので、ご支援ご協力の程お願いします。

“コロナに負けるな”を合言葉に、皆様のご健勝とご多幸をお祈りし、年頭のあいさつと致します。

令和3年正月 上井公民館長 田中佑和



◀写真
 左 中 右
 .. 田 福
 福 井 本
 主 主 主
 事 事 事



書「こころ」小畑 梨奈(おばたりの)さん
 (福庭：令和2年全国公募展「放哉を書く」
 一般の部=放哉大賞・鳥取県知事賞)
 「新年、新たな心で何事にも取り組んでいきたい、挑戦したという気持ちを込めて『心』という字を書きました」(小畑)



板画で年賀状



付記：「教室」で制作された年賀状です。



上井

師走



初の積雪風景
 12月中旬。倉吉駅前

板画で年賀状づくり教室

11月8日・22日・12月6日と3回、「教室」が開かれました。参加した子供たちは、持参の『河北小なかよし年賀はがき』にイラストし、

色彩豊かな年賀状

板に彫って、色彩をほどこし板刷りしました。友達への思いを込めての制作でした。仕上がった年賀状は、12月7日までに校内ポストに町内毎に投函したことでしよう。お正月が楽しみですね。(上の写真・取材=佐々木)

「上井、いま昔」を語る会に14名が参加

12/20(日)午前10時から、上井の町の変化を語る会が開かれました。



懐かしい話が
 いっぱい

「若い頃は、お〜い!と声をかけると人が直ぐ集まってくるような

感じがありましたが、今はそうでもありません。新興住宅が増え子供さんが多くなりましたが…」と、進行役の伊藤俊之さん。昭和20年代から現在までの上井の町の変貌のエ

ピソードで、わいわいガヤガヤ。あらためてイベントの大事さが浮き彫りになりました。会終了後、参加者は、「ふれあいそば」の収穫祭を楽しみました。(戸)

上井公民館だより

NO187
 (06年10月からの通算)
 編集：上井公民館
 編集委員会
 令和3年1月1日発行
 〒682-0042
 倉吉市大平町360-1
 TEL26-1736 FAX26-3621
 (メール) koagei@ncn-k.net
 (HP) http://www.ncn-k.net/
 /koagei/

のぐち内科クリニック

倉吉市上井町1丁目8-5
 TEL 0858-24-6101
 診療科：内科、腎臓内科、
 消化器内科、人工透析内科
 ◆診療時間ご案内◆
 ※受付は診療終了時間の30分前までです。
 月【午前8:30~12:30/午後3:00~7:00】
 火~金【午前8:30~12:30/午後3:00~6:00】
 土【午前8:30~12:30】
 ◆休診日【日曜 / 祝日】

上井公民館★あげ
 上井公民館のQRコードです。

 ★上井公民館★あげ

1月の行事予定

7日(木)	河北小学校・河北中学校 始業式	
12日(火)	上井地区自治公民館長会	13:30
	地域のあり方検討会	15:00
15日(金)	上井地区民生児童委員協議会	9:30

今月の「ふれあい給食」サービス 14・28日

【教室・講座】

3B体操	(月曜)	18・25日	10:15
	(月曜)	18・25日	18:30
書道教室	(水曜)	13・20日	10:00
	(水曜)	13・20日	13:30
水墨画教室	(水曜)	13・27日	13:30
板画教室	(日曜)	17日	10:00
子ども硬筆・毛筆教室	(土曜)	9・16・23・30日	13:30
リラックスヨガ	(金曜)	15日	10:00

【同好会】

女性のつどい		12・19日	9:30
民謡同好会		18・25日	19:00
太極拳同好会	(月曜)	18・25日	20:00
	(金曜)	15・22・29日	10:00

【その他】

なごもう会	5・19日	13:00
-------	-------	-------

上井地区自治公協議会 総会開催のお知らせ

※令和3年度より、全体での懇親会は廃止し「自治公民館の活動報告会」を開催します。

また、新型コロナウイルス感染対策として、各自治公より4名程度の出席とさせていただきます。

日時：
令和3年2月7日(日)
午前10時～

会場：
上井公民館 多目的ホール

公民館に“フリーWi-Fi”が設置されました！

使用可能時間：平日 午前9時～午後5時
認証登録をすることにより無料でインターネットに接続することができます。

※注意事項※

① 認証は6か月間有効です。

② フィルタリングソフトを導入しています。

③ 有害サイトは表示されません。ネットの利用記録が残ります。適切にご利用ください。



上井の 元気な人

長井貴徳さん
(福庭東)

スポーツ推進員25年。福庭東公民館館長6年。河北SS陸上部指導を29年。地区青少協役員など、地域貢献されている長井さん。11月号に続けて取材しました。

—陸上競技との出会いは？
答「走ることは好きでしたが、昭和39年の東京五輪で、100mを10秒00という当時としては、驚異的な記録で走ったヘイズ選手(米国)を見て憧れました。中学で恩師菊留一男先生(清

陸上を通して人との 繋がりを



河北SS陸上部で今日も子供たちに指導(倉吉陸上競技場で)

谷 在住)との出会いあり、走りの基礎を鍛えられ、国立競技場で走った時は、夢のようでした。リレーで入賞しました。陸上との出会いの上に現在の私があります」

—河北SS陸上部監督としての喜びは？

答「監督業を私の娘も手伝っており、大変ですが楽しくやっています。卒業生がインターハイ出場、大学とか実業団で活躍するのを見るのが喜びです。で

も一番は、元気な彼らに会った時です」
—長年、スポーツ推進委員しておられますが、その内容は？
答「地区のスポーツ行事の企画・実施の手伝い・体育部長会のアシストなどです。何事もチームワークです」

<取材を終えて> 何事にも前向きで、様々な活動をされているエネルギーに圧倒されました。家族、特に奥さんの理解・協力あってのこと痛感しました。(杉本)

終活研修会が、12月7日(月)13:30から、上井公民館(多目的ホール)で開催されました。参加者36名。中高年、女性の参加が多く見られました。

講師は、ファイナンシャルプランナーの田中功さん。『終活って何?』で始まり、基本的なエンディングノートの書き方、活用方法を講演されました。大切なことは、これから

▶ 真剣にメモを取る参加者



あこれからの人生を

の人生を明るく前向きに生きていくためにも、エンディングノートを作ってみることを奨められました。

また、自分の想いを伝えるためにも、終活を家族など信頼出来る人と進めることが理想だと強調されました。

「自分の人生の振り返り、締めくくりをデザインする事の大切さ」「後を託された人が困らないようにする」にはと、考えさせられること満載でした。(杉)

「終活研修会」に36名が参加

熱中症は、暑さだけが原因ではありません。暑さに脱水が加わることで起こり、冬でも浴室などで引き起こす可能性があります。

冬の室内は、暖房により脱水を起こしやすい環境です。夏に比べて、水分を失っている自覚や警戒心が薄れ、水分摂取の意識が低くなります。

また、感染症対策として、マスクを着用して

倉吉市健康推進課から 知らず知らずの脱水症から、冬の熱中症へ

いる人が多いですが、マスクは内側の湿度が上がり、マスクをしていない時より喉の渇きを感じにくくなるため要注意です！

○冬に脱水が起きやすい理由

①暖房などによる乾燥

②夏に比べて水分摂取の意識が低くなる

③水分を失っている自覚や警戒心が薄れる



迎春

頂いたカレンダーには、版画(作:長谷川富三郎)と、「一番大事 健康生活」という言葉が印刷されていました。とても印象的でした。先送りせざるを得なかった計画が、今年には実現できますように！

編集委員会から

(準)▽明るい話題・色々な情報を伝え、「上井のまちづくり」の一助になればと思います。町内の話題・イベント・皆さんの作品などをお寄せ下さい。

【編集委員】

三木・佐々木・楠本・杉本・戸田

私の作品

パッチワーク

穂近 多加余さん
(海田南)

「あげい祭」で優秀賞の穂近さんにインタビューしました。(注:写真右=その作品の一つ。前号にも掲載しています。)



手拭いを使って仕上げられたタペストリー

問 優秀賞に選ばれましたが…、
答「あげい祭の時期がハロウィンの頃だったので、注目されたのでは？他にも作品を出しているんですがね…」

問 この作品を作られた経緯は？
答「県外にいる娘から『手拭い』が送られてきたので、そのまま作品にしてみました」

問 手芸を始められたきっかけは？

ハロウィンの仕様のタペストリー

答「3年前前にパッチワーク展に行き、知り合いの作品を観て、作り方を教えてもらったのがきっかけです。そのうち、自分なりにコツをつかみ、創意工夫をしながらここまでになりました」

問 現在取り組んでいる作品は？

答「今、手作りマスクを作って、人にあげたり、娘に送ったりしています。娘からも手作りマスクが届きますけどね(笑)」

【取材を終えて】

「健康で、夫婦仲良く楽しく暮らしている姿を子や孫に見せたい。手芸も好きだからこそ、自分にとっては楽しく感じるひと時です」と言われる穂近さん。明るく、とても76歳には見えない、元気ハツラツした女性でした。(三木・楠本)